

第 47 回 復帰 52 年「5.15 平和行進」

私は今まで平和行進については、テレビやネットのニュースくらいでしか見たことがなく、見たとしても流して見ていました。

今回初めてレンジャーとして平和行進に参加させて頂きました。

まず、こんなにも県内外からも参加する人がいること、熱量がこんなにもあるのだとびっくりしたのと同時に、自分が他人事のようにしていたのを少し恥ずかしく思いました。

レンジャーとして 8 km 行進し、まずたくさんの参加者がいることがこんなにも心強い事だったことを実感しました。

自分一人では心細いけど、みんないるという安心感と一体感を体験できました。

県外の方々も積極的に行動していて、この基地の問題は沖縄だけの問題ではないのだと強く感じ、考えないといけないと思いました。

歩いてみて、普天間基地がこんなにも広大だと改めて知り、これは実際に歩いてみないとわからない事でテレビやニュースでは感じ取れない部分だと思います。

また、テレビやネットのニュースでは取り上げられてない、見ていなかった部分がたくさんあるのだと知ることができ、勉強になり、基地問題に興味を持っていかなければならないことだとひしひしと感じました。

戦争は絶対に反対ですが、個人的に身近な基地問題は騒音問題が当てはまるなと思い、夜中は戦闘機やヘリの音はうるさく感じます。

しかし、今回宜野湾市のグラウンドで全港湾の人たちや色々なところから集まった人たちがいるのを目の当たりにしてすごい事をしているのだと、これが団結の力だと感じ、いつもは見ていただけだったけども、行動をおこさないといけないと今回の 5.15 平和行進でわかりました。

歩くのは少ししんどかったのですが、それも含めとても貴重な体験をさせてもらいありがとうございます。

今後もこの活動を広げて行き普天間基地、辺野古移設と無くなっていければと団結して頑張りたいです。

沖縄地方青年女性部
検数分会 仲座 一成